

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2021～22年度 大宮西ロータリークラブ週報



創立：1963年3月22日

会長 福田 和子

例会場：パレスホテル大宮

幹事 押野 一郎

第2730例会 2022/04/25

例会日：月曜日 12:30～13:30

雑誌・会報委員会 廿野 幸一

発行日 2022/05/09

会長挨拶

会長 福田 和子

皆様、こんにちは。お忙しいところ会場にお集まりいただき、ありがとうございます。また、Zoomで参加の皆様、ご出席ありがとうございます。



駅でツバメが飛んでいるのを見ました。巣を作り子育てに勤しんでいるようで、よい季節ですね。

さて、今年度の活動方針を掲げてから、はや10ヶ月が過ぎようとしております。その間、コロナウイルスに右往左往させられてしまいました。しかし、2022年の年明け早々の急激な感染拡大“第6波”が峠を越し、やっと例会を例会らしい形で行うことができました。リアルで会う迫力に、人との繋がりを感じませんか。良いものです。人と逢うと自然に顔がほころびますね！これがロータリーの第一歩かと思えます。

昨年、コロナ禍でも支援活動を何とかしたいという思いでおりまして、地区より案内がありやっと実現できました。今回は、米山記念奨学生 ガンちゃんの故郷・ベトナムへ、皆様の大切な浄財を寄付することができました。今後、大宮西クラブとしてグローバル補助金に繋がる、ベトナムへの支援活動の第一歩となったのではないかと思います。

さて本日は、国際奉仕部門委員長 国武 充 様をお迎えしております。国際奉仕を理解し、そしてその実行のためどのような方法があるのかを複雑かと思いますが皆様と一緒に学びたいと思います。

それから皆様にお願ひがあります。今年度もあと2ヶ月です。会員増強の追い込みとして、一人一人が新会員のご紹介を是非とも願ひいたします。これから5月、6月と大きな卓話がありま

す。その時、どうぞオブザーバーとして知り合いの方をお誘い願ひします。

これにて会長挨拶といたします。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

吉田 信行 会員



お客様紹介・米山記念奨学生紹介

■国際ロータリー第2770地区
国際奉仕部門委員長 国武 充 様

■2022学年度 米山記念奨学生
グエンティガンさん

(ご紹介： 副会長 新井 清太)



幹事報告

幹事 押野 一郎

①会員名簿の記載内容に変更があれば、事務局にお知らせください。

②次回例会、5/9(月)は、クラブ協議会、次年度の方針発表になります。



お客様ご挨拶

■国際ロータリー第2770地区
国際奉仕部門委員長 国武 充 様
ベトナム・ダナンへ皆様の浄財をお届けし、ひとつの事業が完了しましたので、お礼に伺いました。事業にご賛同いただき、本当にありがとうございました。感謝状などは後日、郵送いたします。



心に夢を 奉仕に行動を

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



ダナンは7年ほど前から支援しています。第三世代には国からの援助もなく、民間の方がボランティアでお世話してくれています。オムツやミルクが行き渡るようで、感謝いただいております。

委員長報告

■幹事エレクト 榎本 貞寿
4/26 (火) 18:30 から、パレスホテル大宮にて、次年度役員理事委員長会議が開催されます。該当者は、よろしくお願いたします。



地区役員派遣報告

■地区米山奨学増進委員会 委員 増永 裕樹
米山は4月から新年度です。次年度は米山選考委員会 副委員長を拝命しました。4月からの生徒数は39名。中国からが一番多く、韓国、ベトナム、台湾、ネパール、トルコから来ています。

昨年度は、悲しいことが2つありました。ひとつは、奨学生で亡くなられたかたがいました。もうひとつ、ご実家の家業がうまくいかなかった学生がいました。学費を払えない→除籍→ビザが切れる→バイトもできず→復学できず→帰国せざるを得ない。しかし、4月からの就職先が決まっていたのです。もし、周りが気づいて学費を一時的に工面できれば、就職できお金を返すこともできたわけです。コミュニケーションをとり、声をかけていけば、状況がわかり、知恵を絞ることもできなるとかできた事例でした。学生に話しかけて何に悩んでいるか、何を必要としているのか、汲み取ればと思うのです。皆様、今後も米山にご協力よろしくお願いたします。そして、学生とコミュニケーションをとってください。よろしくお願いたします。

■地区国際交流委員会 委員 島村 まり子

コロナ禍で韓国・台湾からのお客様が来られませんでした。再開したら、またがんばります。

■地区奉仕委員会 委員 松本 有祐

地区では、ベトナム・ダナンの孤児院への奉仕活動をしています。ダナンはベトナム戦争の際の激戦区にあり、米軍が枯葉剤を撒いたことで有名です。

今回の支援対象は、枯葉剤による影響で生まれた奇形児、障碍児の施設です。もう第三世代なのに、いまだに影響を受けており、国からの支援は打ち切れ、かなり困窮しています。施設は周囲のボランティアによって賄われていますが、コロナ禍でそれも難しかったようです。

緊急性があると判断され、3施設に45万円の寄付を想定、大宮西RCからは5万円を送りました。支援に際し、皆さんの同意をいただく経緯が十分でなかったと反省しています。そして、ご支援いただけたことに心から感謝いたします。



■地区資金推進委員会 委員 竹内 雅人

資金推進委員とは、他クラブに行って財団の話をし、寄付のお願いをすることがほとんどできない、他クラブに行けない状況で、活動がほぼできませんでした。次年度は出向しませんが、その後、また地区で活動していきたいと思えます。

■地区インターアクト委員会 委員

横溝 一樹
地区出向3年目となりますが、主だった事業が軒並み中止になるなどコロナ禍での活動の制限が一番大きかったように感じる1年となりました。

そんな状況ですが、地区では昨年からの新たな試みとして中学校に向けインターアクトクラブ設立を提唱する活動を行っており、地域各中学校からは良好な反応をいただいているとのことです。次年度からの青少年交換事業再開を受け、韓国3750地区からも交流事業再開に向けた連絡を受けているとのことです。こちらの方も準備を進めてまいります。来年度もインターアクト委員として出向いたしますので、引き続きご支援いただけますようお願い申し上げます。

■地区公共イメージ向上委員会 委員 石丸 主憲

公共イメージ向上委員会の役割のメインは、クラブでも同じですが、ロータリーの活動や情報を内外に発信することです。今年度は松本ガバナーにちなんで、YouTubeちゃんねる「未来の扉 まっちゃん」を開設し、毎月発信しております。なかなかガバナーのお話をYouTubeで流しても見てもらえませんが、今年度は趣向を凝らして配信しております。私たち委員は数秒ですが、MCとして出演しております。ガバナーのお話も含め、端的に聞きやすくお話していただいています。とにかく興味をもってもらい見てもらうと意識して作っております。皆様、是非、見てください。

■地区職業奉仕委員会 委員 吉田 浩士

昨年10月、部門セミナーをWebで開催しました。内容は「コロナに負けるな。1社1名の採用を推進しよう」まずはできることから人材採用を。自分が担当したのは「日本には老舗の会社が多い」という話でした。創業200年を超える会社が、世界では6000社、うち日本には3000社以上。創業100年は40,000社を超えるとのこと、世界の8割以上が日本にあるといえます。世界最古の企業という、大阪の建設会社の話をしました。その会社には言い伝えられている、16の教えがあるそうです。その中のひとつに、「単に利益を追求するだけでなく、嘘偽りのないしっかりと仕事をしよう」といった内容のものがああります。また、その会社が存続の危機にあった際、地域の会社が手助けしてくれたといえます。会社という枠組みを通して、評判・信頼といったものを蓄積し、地域に利益を還元するものではないか、そう思います。職業奉仕を勉強し、クラブに還元していくよう努めます。



■地区クラブ活性化・戦略計画推進委員会 委員 風岡 淳一



年度後半は、RLI 運営委員会と合同でRLI を運営しました。RLI は“ロータリーリーダーシップ研究会”のことで、全地区で行う、ディスカッション形式の研修です。パートI、II、IIIの3回に参加で修了となります。年度をまたいで参加しても、どういう順番で参加しても大丈夫

です。

1/29(土)に、RLI パートIIIが、新型コロナウイルス感染症対策により、Zoomで行われました。当クラブからは、荒井理人会員、岡部会員、石丸会員、小林又次郎会員、島袋会員の5名が参加され、特に岡部会員、小林又次郎会員、島袋会員はこれを持ちましてすべて参加となり修了となりました。また、ディスカッションリーダーとして内山会員、新井清太会員が参加されました。

次年度は、リアル開催の予定です。パートI・12月10日(土)、パートII・1月21日(土)、パートIII・2月18日(土)に行われることが決定しております。まだ参加したことのない方は、ぜひ参加してみたいかかと思えます。

会員情報提供

これからの時代に必要なのは
「営業戦略」より「人材戦略」

■財務・組織強化コンサルタント 「ラピス ワイ コンサルティング」 星野 良江



現在、皆様の会社の問題課題は何でしょうか。財務(資金繰りなどの)問題ですか。コロナ融資の返済も始まりますね。日本の中小企業の70%は赤字と言われています。しかし、どれだけ経営が順調でも「人の問題」だけは無くならないとおっしゃる社長さんが多いです。

「人の問題」はなぜ無くならないのか

それは“経営者と従業員の視点が全く違うから”だと思っております。“当たり前”の基準の違いとも。多くの経営者様は借金をしながら、まさに身を削って会社の事を365日考えています。従業員はそこまでは考えていません。入社してからしばらくは真面目に働いていたのにGWを過ぎると目の輝きがなくなり、自分の果たす義務を忘れて権利だけを主張し始める方が出てくる傾向にあります。

このような方に社長が「その考えは間違っている」と伝えれば伝えるほど両者の溝は深まるばかりではないでしょうか。私はそのような方に、面談とセミナーを通じて「社会の厳しさ」を伝えることができます。

セミナーでは

「お金のためだけに働く人にはかえってお金が入りにくくなります。お金のためにだけ働く人は仕事が好きではないので成果は最小、要求は最高になります。経営者から見てこんな人にお金をたくさん払いたいと思うでしょうか。経営者がどんどんお給料を払いたいと思う人はどんな人だと思いますか。私はお客様と会社と同僚のために心を込めて働いてくれ

る人だと思います」こんな感じでお伝えしています。

なぜこのような話をしても大丈夫なのかと申しますと、**個人面談**を行うからです。

個人面談

お説教はしません。その人の持っている素晴らしい部分にスポットライトを当てて能力や熱意を引き出すことを目的としています。これをエンパワーメントまたはエンゲージメントといいます。日本では星野リゾートが採用しているマネジメント手法です。自分だけにスポットライトが当たる時間は新鮮なので、愚痴だけでなく前向きなことを自ら発してくれるようになります。これを毎月継続していくと働きぶりが見違えるようによくなる方が現れてきます。ビジネスコーチングとの違いは目標を設定しないこと。自分語りをする時間だと捉えてもらいます。悩み相談でも構いません、自分の時間だと感じてもらえるように。この時間で信頼関係が構築できるのでセミナーで社会の厳しさを伝えても受け止めてくれるようになります。いいところは褒めることもします。

またセミナーでは社会の厳しさだけでなく、ビジネスの法則を毎回お伝えいたします。それらを活用して売上や利益のアップにつなげていく働き方を提案いたします。

例えば
グッドマンの法則
苦情処理(対応)と再購入決定率の相関関係を計量化した法則

第1の法則

クレームは迅速に解決

第2の法則

ネガティブなクチコミは拡散する

第3の法則

顧客に価値ある情報(不利益な情報)顧客満足度上昇

やる気のない人も自然に良い行動を取ってしまうような社風作りと良好な人間関係を大切にしながら全員の目線をゴールに向けることを意図して行います。職場での話し方を変えるだけでも効果が出ます。

もしこのような「組織を強くするコンサルティング」が毎月の“新入社員さんのお給料一人分”で導入できるとしたらいかがでしょうか。ご興味を持っていただいた方には後日無料相談を1時間ほど行いたいと思いますので、後ほどお申し付けください。私が訪問できるのはあと2件です。枠が埋まってしまうましたらご了承ください。

米山修了式

3/12(土)に米山“修了式”が行われ、その様子が「ガバナー月信4月号」に掲載されました。当RCの米山奨学生 ガンさんも参加しました。

